



サカタニ友の会ニユース

老人力を集めれば 極楽がつくれる

9月20日(月) 「敬老の日」にふと思っ

1963年(昭38)に出来た「老人福祉法」の基本理念は「老人は、多にわたり社会の進展に寄与してきた者として、かつ、豊富な知識と経験を有する者として敬愛される」とも、生きがいを持つ健全で安らかな生活を保障されるものとする。」と書かれ、9月15日を「老人の日」と定められていた。

が、いつの間にか第3月曜日「敬老の日」に代わっている。法律の文言は変わっていないが「敬老の日」とは白々しいとしか思えない現実がある。

訓を他所にし次代を背負う彼らを少し甘く育てた。その結果が今の世情だから自業自得と納得するしか無いかも知れない。

半世紀前は、どの町内でも怖いオッサンや五月蠅いオバハンが居られて若者を抑えていた。その人達は消え、優しい物わりの良いジーゾーバーが増えた。これで日本はワヤに(囂)になった。

京都市人口の高齢者人口比率は23.1%。わが東山区は30%を超えている。この人たちは全て有権者で間接的でも政治に参加出来る大集団である。生まれ育ち懸命に日本を支え創ってきた誇りを持つて「後期高齢者分別廃止」を叫べば「制度」は吹っ飛ぶと思う。そういう行動こそが今よりモツト日本を良い国に出来る

と信じた。 京都には男子最高齢者木村次郎(86歳)が居られる。氏は、1897年(明30)4月19日生、日々縁側で自転車をこぐ

動作を繰り返して体力を維持。3食欠かさず家族と食し新聞を読むのが大好き。テレビは相撲の中継を楽しみ、最高齢になり「更に責任の重さみたい



4月 月囲ん
今年 族門に
9月 親衛
11日 右
19歳 生次
19日 木村
11月 誕生
写真は asahi/comyより

発行者
株式会社サカタニ
集西楽・サカタニ
ファミリーマート
サカタニ京阪七条店
〒605-0993 京・東山区七条こころ坂下
・075-561-7974
URL www.sosake.jp/
E-mail info@sosake.jp
とんからりんは
毎月発行の
会員新聞です
編集・酒谷義郎
yosirou@sosake.jp

市長ら特権意識丸出し 市諸幹部も地下鉄通勤を「衣冠の盗」を脱すべし

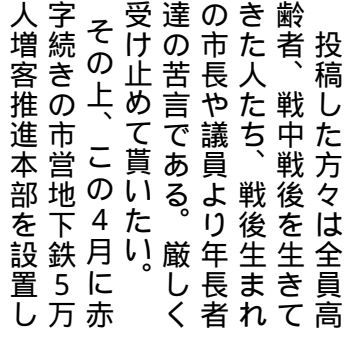
右の見出しは、彼岸の日、京都新聞「窓」に載ったものを転記した。編集者も「窓」欄に投稿することもあり常に目を通す。でも、一つのこと(行為)で、投稿が三つ掲載されることは極めて珍しい。オマケに欄内の囲み欄「八ひやく」まで関連したものが載っていた。その行為は「ノーマイカーデー」に市長はじめ市会

なものを痛感し、1日でも長く元気でありたい」と話されているという。私たちが同じ気概をもつて、長く生き老人力を發揮して極楽をつくらう。

投稿した方々は全員高齢者、戦中戦後を生きてきた人たち、戦後生まれの市長や議員より年長者達の苦言である。厳しく受け止めて貰いたい。

その上、この4月に赤字続きの市営地下鉄5万人増客推進本部を設置している。舌の根も乾くまがらない時のなされた言行が社と同じ様に「節約に努め」たら、「公」(地方も)財政は一・二年で赤字になるだろう

「重要文化財澤井家住宅と文化財の実情」のお話を澤井家住宅の管理人亀村 司様よりお聞きしました。



この住宅は京田辺市大住岡村にある京都府内で、トスパースとして利用されています。住居参観料金は300円。

第69回朝粥食べておしゃべり会報告

9/19 第3日曜日
69回定期9時にスタート。今回は予約お申込の方に今断りする状態になり誠に申し訳ありませんでした。井家住宅の土間空間は響きが良く、時にはコンサー

わが社九月末決算。未確定だが、猛暑とタバコで売上は増え、経常利益もどうにか前年より良い見込み。お客様に感謝。期中にこの子なら別の職場でも活躍ができると社員を減らした。経費も徹底的削減し、多分前年程納税することになる。通常の会社なら当然経費としている費用も、個人負担し交際費、交通費は税務署が愕くほど少額に抑えている。

「とんつきー」

ヨシイちゃんの ひんがし



今月の「とんからりん」は133号、創刊が1995年(平7)5月、その前年生まれた初孫は今年高校生。途中何度も発行を止めと思いましたが、そんな時に「読んでるえ」と会員さんからお声。それに後押されて続けられました。先日FAXで「ピエロ」と題した下記の詩が送られてきました。~~~~~

ピエロ



福岡在住詩人
山本よしき

【ピエロが笑った
客は笑わない
下手な演技におこっている
ピエロは練習した
必死になった
客を笑わせるために
毎日汗を流した
だけど役は笑わない
ピエロは最後の舞台にかけた
客が笑わなかったら
やめるつもりで
「どつか笑って下さい」
ピエロは折った
悲しくなって涙がこぼれた
おかしな顔が涙にぬれて
すこし可笑しくなった
客が笑い始めた
ピエロの顔に涙があふれた
客の笑い声が嬉しくて・
おかしな顔が

益々可笑しくなった

客が大声で笑っている

ピエロは泣いている

泣きながら、泣きながら
必死に演じている

客が大声で笑っている

送り主は、私も参加している
何度も読み返しながら、泣き
ながら演じてるピエロを通して
自分を振り返ってみました。

年4回・こころ坂「楽々落語会」を開催。子供時代から落語好き「春團治」の「いかけ屋」を蓄音機で聞きケラケラ、高島屋の裏出口で「いと

たま駅長のいる 貴志川町 私の原点



和歌山県の紀ノ川市にある和歌山電鉄・貴志川の新駅舎が今日完成する。ヒノキの皮で作った短冊状の板を重ねた檜皮葺の屋根と、猫の顔をデザインが特徴だ。駅長は三毛猫の「たま」。今や鉄道会のスーパリアイドルである。【以上は8月4日の日曜新聞「秋の記憶」引用した

こい」の街頭漫才を聞いたたり、笑い名人の「ダイラケ」は大ファンでした。一番笑うの一生懸命に真剣にやりながら、ころつと失敗するところ。火事見物や事故現場わき見で起こる渋滞と同じ心理でしょう。只、面白がるのでなく自嘲や自戒もしています。

「とんからりん」は頼まれて続けているのでなく、自己点検と反省に役立つと思うのです。文は「前座以下」ですが毎月のプレッシャーは「ボケ防止」妙薬。でも偶に読み戴けたらより嬉しいです。

「たま」と名付けて可愛がっていたが私の入院中(小)に居なくなった。貴志川の名物駅長も「たま」。

和歌山県貴志川町(現・紀ノ川市)は、1953年(昭28)七月17、18日、和歌山県を豪雨が襲い貴志川の堤防が決壊。私は復旧救援隊(今で言うボランティア)の一員として、その町で八月二週間余り過ごした。その活動の感動が、後の人生に一番大きな影響を与えてくれたと思っている。

救援隊員は松下電気京都工場労働組の男子1、女子3、私と勉強会仲間1・計6名。貴志川駅から町へ入る橋の際に「不逞の輩(吉田茂首相が左翼を称した言葉)が救援を口に

夜は被災者のお家を個別訪問して被災者の要望を聞きとり「被災者同盟」という組織づくりに専念した。

松下労働組の人たちは5日ほどで京都に戻り、後は町会議員らと私たちが頑張つて組織が出来上がった。15日の和歌山城公園の被害者大集会は、参加者が多く電車を貸切り和歌山市へ。大会前に県庁に要望を書いたムシ口旗掲げて団体交渉もした。夜の大会の途中で南山城大水害の報が入り急遽翌日京都に戻る事になった。町の人達が貴志川駅まで見送つて来て下さった。

救援が純粹で不逞の輩ではないと認められたのだらう。人に尽くせた清々しい気持ちと満足感を宝物にして電車に乗った。以後は一度も訪れてない。

最近「たま駅長」と「市民参加で電鉄運営」している「貴志川駅」がマスコミ話題になる。その度に当時の情景を思い出しグツと来る。幼児から身体も弱く超大人しく気の弱い私が大変化した原点の町だと思っている。貴志川から戻り、南山城水害に関わり百名上の死者がた井手町の木津川堤防の救援小屋に住んだこともある。酒屋を継ぐ気の無かった当時を語らず空白にしてきた。昔のこと、もうエエヤン力気分で書いてみた。

京都&東山 ぶらりピカリ

25

西郷隆盛・

月照の密会所

東福寺山 さいしんてい

即宋院 採薪亭

月一度定期健診に通院している私、その病院で何時もお会いするM氏は徳川末期から東福寺門前で酒造業をなさっていたお方。同業同年代の誼で待合のによくお話をします。

9月は、東山区学校統合ことから本町沿いの「月輪小学校」廃校の話に及び、その敷地近くの茶亭「採薪院」のことを知った。

月輪小学校は1922(大11)一橋校区を分割して出来、校舎校地はM氏や付近の方、東福寺?の一部を譲受て建設されたそうである。近くには「採薪亭」という茶室が有り、M氏は祖母様から「そこに西郷さんと月照さんが出入りしていたこと、即宋院さんが再建を約束し採薪亭解体材などを保管している」と聞いていますと聞かれた。



本町通は(伏見区)内は直達通

(名)豊臣秀吉の伏見城築城と共に、伏見京都を結ぶ道として出来た重要な街道。それに沿う東福寺(即宋院)は代々の薩摩・島津家から庇護を受け、その繋がり、徳川家定御台所になる「篤姫」も江戸に下る途中に立ち寄り寄っている。

更にこの辺りは当時「山城の国」で京都所司代(徳川幕府)管轄外であり、三十三間堂近に有った土佐藩の(お龍の母の居た)隠れ屋敷と同様に、薩摩藩伏見藩邸にいた西郷と清水寺の月照が合うのに「茶亭」は絶好の位置だったのだらう。



僧、月照(げっしょう)は清水寺成就院の住職、尊皇攘夷に傾倒して

京都の公家と関係を持ち、58年(安政5)8月から始まった安政の大獄で追われる身となり、西郷と共に京都を脱出して西郷の故郷である薩摩藩に逃れる。が、未だ倒幕派でなかった薩摩藩は厄介者である月照の保護を拒否し、日向国送りを命じ、国境で月照を斬り捨てよと命じた。月照も死を覚悟する。同行した西郷隆盛は島津斉彬公没後不遇な身となっており二人は共に錦江湾に入水した。月照はこれで亡くなったが、西郷は奇跡的に一命を取り留めている。

的に一命を取り留めている。

西郷は、以後も遠島などの目にあうが、時流により重用され第二次長州征伐の幕府の方針に反抗し、薩長連合を結び歴史の表舞台(9月12日電馬伝)で活躍することになる。

明治時代になって、西郷は木戸孝充(桂小五郎)大久保利通「維新の三傑」の一人となる。更に「維新十傑」も有るが坂本竜馬はその何れにも名は入って無い。今や、西郷は知らなくて坂本竜馬は知る時代なのに、明治維新直前に暗殺されたためか、脱藩浪士ゆえだろうか?

(連載) 京阪電車

走り続けて 100年

1903年からしばらくの間、京阪電車は矢継ぎ早に日本の電鉄界に話題を提供しました。最初はアメリカの最新電車技術を導入した新造車1801・1802号を1903年夏に走らせ、新聞では防音防振電車と名付けて紹介しました。翌年には2両増備、その内2両にはテレビを取り付け、テレビ時代到来を思わせるものでした。

そして1909年春、大阪市内に残っていた道路上の線路を独立させ、大幅なスピードアップを達成しました。特急は京阪間を16分の秒で走りました。

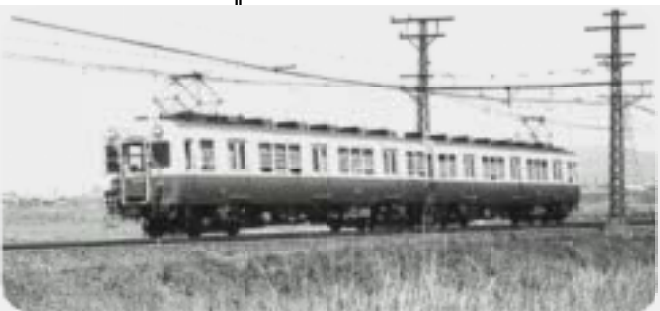
さて冒頭のM氏の聞き伝えによると「採薪亭」の解体材等は再建の意向も有った即宋院にある(真偽は知らないが)とのこと。もし、京都市教育委員会が調査されて、それが有るのなら月輪小学校廃校の機会に「再建」されたら良いと思う。

付記: 編集者は小学二年生のころ祖父から「日本歴史絵本」を買った。それに、錦江湾に浮かぶ小船から月照・西郷の二人が肩を抱合い正に入水姿の絵が載っていた。この稿を書いている浮かべたが、絵から不思議に「死」の恐怖の表情は感じられなかった記憶がある。何故だろうか。

七条(京橋間は35分の秒)で、この年の秋の国鉄東海道線電化完成を迎え撃つものでした。これだけではありません、1905年からテストを続けていた空気バネの実用化に成功したのです。空気バネは小刻みな振動を吸収することで定評があります。それを日本で最初に実用化したのです。

もはや戦後ではないと政府が宣言したのは1909年でした。都市周辺に大規模な住宅地造成と集合住宅建設が始まり、京阪電車沿線では中宮団地、香里団地が相次いで開設されこれらの団地輸送は京阪電車担当となりましたが、最も輸送力が要求される区間、枚方市(守口間は複線のため増発には限界がありません)。

定付近を行くスーパーカー2000系電車



した。そこでスタートダッシュに勝れ、早く止められる電車を開発して線路容量を増やすことになり、登場したのは車体断面が丸味を帯びたスーパーカーでした。

スーパーカーは早く走り出し早く止められるだけでなく、電力が節約できるエコロジー電車でした。電車は動く時は電気エネルギーを消費しますが、停める時にモーターの回転力を利用して発電が出来ます。これを応用して1989年から京津線の一部の電車、坂の上り(電動)下り(発電)でモーターを有効に使っていました。これを電力回生ブレーキと言っています。スーパーカーは平坦線で世界最初の電力回生電車でした。

酒屋で生きて 生かされて

第五十六話

日本名門酒会・コンビニ

日本の酒(三)

近年の焼酎

ムに圧された形で減っていた日本酒が最近増加傾向で喜ばしい。過って「酒くさい」とか「二日酔い」と女性に毛嫌いされていたのに若い女性のファンが増えてきている。

幼稚園児時代から、祖父に煽られて「利き酒」の真似事、法違反だが高校時代から量(少)酒を飲んでいました。

酒屋商売ですから日本酒以外の色々な酒類に触れてはいます。青年時代は京阪三条付近の呑み屋でトブ酒(密造の)かカストリ焼酎のサイダー割り。結婚直後は「ハイニツカの水割り、利き酒は別ですが日本酒で晩酌が出来るように三十代後半から。その間は貧乏時代でした。

酒卸屋から酒小売転業した当時1974年(昭和)44年頃、日本酒は三倍醸造(アルコールや調味料使用)が全盛。更に級別も有って(特級・一級・二級)高度成長共に「特・一」が日本酒市場を圧倒的に押さえていました。ある日珍しい銘柄の空瓶が戻りましたので「栓」を抜き香を利くと、その頃は

滅多に出会わない「吟醸香」がしました。蔵元(宮城・浦電)に電話して少量づつ仕入れました。勝手にチラシに書き売りました。勝手に二級で売れ難かったのです。お客様の多くは級別は酒税額の差なのに「味の差」と思われていたのです。

私もお得意先の「杉ざかや(南座前)」さんは映画監督の大島渚さん(鼻肩店、佐藤慶・戸浦六光さんなどの溜まり場的なお店。各地のよい酒を指名されるので集め売る内に「日本名門酒会」が

でき参加しました。三倍醸造や桶買いの酒級と品質矛盾などを訴え酒屋仲間をつくり頑張りました。その中で「訴える」



「日本名門酒会」が

減多に出会わない「吟醸香」がしました。蔵元(宮城・浦電)に電話して少量づつ仕入れました。勝手にチラシに書き売りました。勝手に二級で売れ難かったのです。お客様の多くは級別は酒税額の差なのに「味の差」と思われていたのです。

この連続は苦勞が有っても必ずお客様に伝わり成果を得られることを知りました。日本名門酒会は今は二千以上の熱心な酒販店と各地の銘讓家(焼酎ワインを含む)大集団になっています

酒屋が免許で護られた「大名商売は大きく変ると危機感があり、店舗のビル建替えを機会にコンビニチェーン(ファミマ)と加盟契約を結びました。

「以下五十七話に続く」

腰は人間の要

重い酒

税込みのビール等を配達するので「ギックリ腰」に良くありません。まあ職業病のようで私も幾度も痛くて歩けない目にありました。もう20年ほど

前から「腰痛体操」を知り実行して以来痛みのキツイ腰痛はおサラバです。至って簡単な体操で紹介します。

仰向きに寝転び、両足を揃え、お度ほど上げ下ろし2回。同じ姿勢で片足だけ持ち上げ別の足に交差します。足首

膝・太腿・と足と位置を変えての回します。この程度で完了です。

この他、最近「腰痛を治すシヨック療法」というマツケンジー体操

が開発されました。方法はネット上で見られます。

注意・信じて毎日続けることが最大のポイントです。



HARAMAKI

「わたくし、生まれも育ちも葛飾柴又です。姓は車、名は寅次郎、人呼んでフイテンの寅と発します」



これは1988年8月4日(平)お亡くなりになったお兄さまの渥美清さん「男はつらいよ」シリーズ「寅さん」の台詞です。その啖呵を切る時、上着の下から「毛糸の腹巻」が見えていました。普通は下着で隠れるものですが「あの筋の人」は外から見えるスタイルだったからでしょう。

子供時代、私も祖母がタオ

ル地に紐つき腹巻を作ってくれ、外から見えないように直接肌につけていました。そういうとシャツがズボンの外に出ていると「行儀が悪いズボンにお入れ」と叱られたものです。今はシャツの外に出しては普通、大臣でもノーネクタイの時代です。

昔から女性は冷え症が多く腹巻している人多かったそうです。最近では男性の女性化で冷え症の増加し、エヤコンで身体が冷えるのを和らげようと今年の様な猛暑日続きの夏でも腹巻を買う人が増えているそうです。

そんな傾向を読んで肌着メーカー各社は「腹巻き」の新製品投入が盛んです。いわゆる「腹巻き」でなく外から見えて「カラフルな遊び心のある」カジュアルハラマキ

で若い男性の購買意欲を誘う算段。各社は来年度売上を今年度の4倍を想定しているとか。

それではあの筋や「寅さん」はトレードマークが侵害されてお困りでっしゃる。



そつや誰かさんみたいに和服におしゃれしたら目立ちます。

編集後記

お彼岸が過ぎ朝夕少

その忙しい中、13年ほど使っていたデュプロ印刷機がつぶれ、もう部品が無く修理は駄目。チラシ・伝票などで酷使したから諦めて新品に。昨日事務所に入った。テスト印刷をした。刷り上がりをはべると前とは格段向上している。その分はキツチリ高くなっている。リースにした。リース会社は何処にしますか?と聞かれた。「オリックス以外であれば、何処でも良い」と応え、納入会社指定のリース会社S社に決めた。

「なんでオリックスだけではアキマヘンの」と担当者が怪訝そうに聞いた。梅小路公園水族館」を造る計画をした会社や私は反対派だからと告げた。

たかが「リース」で何処でも良いことだが、私の中では「整合」しない。「敵に塩を贈る」気になれない。勿論わが社は「敵」から見えない程小さな存在は承知の上でッセ!

この嫌な性格で、商売も失敗やしくじりを良くする。会員さんが増えないのもその為だろう。最早、修正不可能。

この嫌な性格で、商売も失敗やしくじりを良くする。会員さんが増えないのもその為だろう。最早、修正不可能。